



平成26年5月15日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役社長 重田 衛
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

【営業外収益】貸倒引当金戻入額の発生、及び
【営業外収益】投資損失引当金戻入額の発生、並びに
【特別損失】関係会社株式評価損の発生に関するお知らせ

当社の平成26年3月期決算を確定するにあたり、営業外収益（貸倒引当金戻入額、投資損失引当金戻入額）の発生と、特別損失（関係会社株式評価損）の発生が認められましたので、以下の通りご報告いたします。

記

1. 営業外収益（貸倒引当金戻入益）の発生

当社の100%連結子会社の株式会社ルーセント（平成26年1月1日に商号変更。旧商号は「株式会社ショーワコーポレーション」。以下「株式会社ルーセント」と記載いたします。）につきましては、平成26年1月1日付で、同じく当社100%子会社のショーワスポーツ株式会社を吸収合併いたしました。

（当該合併の詳細につきましては、平成25年10月29日付の当社IRをご確認ください。<http://www.showa-holdings.co.jp/ir/irfile/sh20131029.pdf>）

当該合併に伴い、株式会社ルーセントの財政状況が好転することになりましたので、当社が計上しておりました貸倒引当金のうち、株式会社ルーセント宛の債権に対する貸倒引当金379百万円の戻入を行うことといたしました。

なお、当該貸倒引当金戻入益につきましては、当社単体の決算には影響を及ぼしますが、連結決算では相殺消去がなされますので、連結業績に与える影響はございません。

2. 営業外収益（投資損失引当金戻入益）の発生

当社の100%連結子会社である株式会社ルーセントにつきましては、同社の財政状況を勘案し、保守的に当社において（子会社）投資損失引当金を計上しておりました。

上記1.にも記載いたしました株式会社ルーセントとショーワスポーツ株式会社の合併に伴い、株式会社ルーセントの財政状況が好転することとなりましたので、今まで計上しておりました投資損失引当金502百万円の戻入を行うことといたしました。

なお、当該投資損失引当金戻入益につきましては、当社単体の決算には影響を及ぼしますが、連結決算では相殺消去がなされますので、連結業績に与える影響はございません。

3. 特別損失（関係会社株式評価損）の発生

平成26年1月1日付で、株式会社ルーセントがショーワスポーツ株式会社を吸収合併を行ったこと、及び、上記1. 2. にてご説明いたしました合計881百万円の引当金の戻入を行ったことを踏まえ、合併後の株式会社ルーセントの株式簿価について慎重に再評価を行い、750百万円の関係会社株式評価損失の計上を行うことといたしました。

なお、当該関係会社株式評価損につきましては、当社単体の決算には影響を及ぼしますが、連結決算では相殺消去がなされますので、連結業績に与える影響はございません。

4. 今後の見通し

当社個別決算につきましては、上記1. から3. の事項を加え、平成26年3月期の決算数値を確定することになります。詳細につきましては本日付で当社が公表しております「業績予想等と実績値との差異に関するお知らせ」及び「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご確認ください。